

受託候補者評価基準

評価項目	評価基準	配点 (点)		得点 (点)	
1. 業務の実現性				45	
【必須】業務内容の妥当性、独創性	【基礎点】仕様書記載の業務内容について、すべて提案されているか。	0点又は10点	10	15	
	【加点】偏った業務内容になっていないか。	0点～5点	5		
実施方法の妥当性、独創性	・課題の抽出・分析手法は妥当なものであるか。	0点～5点	5	20	
	・実施内容・実施方法が明確であるか。	0点～5点	5		
	・実施方法に業務成果を高めるための工夫が見られるか。	0点～5点	5		
	・独創性が高く、業務成果が期待できる提案がなされているか。	0点～5点	5		
業務計画の妥当性、効率性	・実施方法、日程等に無理がなく、目的に沿った実現性はあるか。	0点～5点	5	10	
	・業務成果の達成のために、日程、作業手順などが効率的であるか。	0点～5点	5		
2. 業務経験・能力				30	
【必須】類似業務の経験	【基礎点】過去に同様の業務を実施しているか。	0点又は10点	10	15	
	【加点】過去に同様の業務を豊富に実施しているか。	0点～5点	5		
業務遂行能力	・業務が遂行可能な人員の確保がなされているか。	0点～5点	5	10	
	・幅広い知見・ネットワークを持っているか。	0点～5点	5		
	・優れた情報収集能力を持っているか。				
業務にあたっての管理、バックアップ体制	・円滑な業務遂行のための人員補助体制が組まれているか。 ・業務責任者の経験や知見はあるか。	0点～5点	5	5	
3. 予算				25	
【必須】適正な予算配分	【基礎点】見積額が予算の範囲内になっているか。	0点又は10点	10	15	
	【加点】コストを意識した予算配分がなされているか。	0点～5点	5		
予算配分の妥当性	・予算に見合った業務内容となっているか。	0点～5点	5	10	
	・予算に見合った業務成果が見込めるものとなっているか。	0点～5点	5		
合計	基礎点	30		100	
	加点	70			

※・必須項目の基礎点が1項目でも0点（基礎点10点未満）の場合、不合格とする。基礎点は0点又は満点となる。

・総合点の最低基準点は6割とする。（100点×60%=60点）

・評価点が最も高い者が2人以上あるときは、技術点（1. 業務の実現性と2. 業務経験・能力の合計点）が高い者を最優秀提案者とする。